



研究テーマ

- 1 MRIを用いた獣医神経病の診断・病態解析に関する研究
- 2 動物の神経疾患および腎疾患への間葉系幹細胞移植の有用性解析
- 3 動物用CT装置を用いた各動物種における形態評価および物性評価



佐藤 裕之

さとう ひろゆき
農学部
獣医学部門獣医学領域
教授

キーワード

獣医神経病、MRI、間葉系幹細胞、CT、3Dモデル

特許情報・
共同研究・
応用分野など

研究概要

主にMRIを中心とした伴侶動物の神経疾患の診断法や予後評価法に関する研究を行っています。神経疾患や腎疾患に対する新規内科治療や間葉系幹細胞を用いた再生医療（細胞移植治療）に関する研究にも取り組んでいます。
CT装置を用いた研究では、様々な動物や物質の形態評価・物性解析を試みています。

1 MRIを用いた獣医神経病の診断・病態解析に関する研究

獣医臨床におけるMRI検査の有用性は増し続けており、治療法の発展とともにさらに検査への要求度は高くなると予想されます。部位診断に留まらず、病変の検出能および鑑別能の向上を目的に、神経疾患を中心に研究を行っています。

また、宮崎大学が有する臨床用高磁場（3テスラ）MRI装置は動物専用として稼働しているため、モデル動物などへの適用も可能です。

2 動物の神経疾患および腎疾患への間葉系幹細胞移植の有用性解析

獣医臨床における再生医療の科学的根拠の集積のために、細胞あるいはモデル動物を用いた移植細胞の有用性を研究しています。将来的には学内倫理委員会の承認を得た臨床研究として、脊髄疾患症例や腎疾患症例への細胞移植治療を計画しています。

3 動物用CT装置を用いた各動物種における形態評価および物性評価

CT検査による各動物種の比較形態学的な形態評価を行う他、様々な物質や機器に対するCT検査を用いた物性解析を検討しています。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

- ・MRIを用いた動物モデルの画像解析
- ・CTを用いた各種動物の形態解析（骨格、3Dデータの保存など）

メッセージ